

資格の学校
TAC

2026年合格目標 [LICENSE GUIDE]
2026.1-2026.7

1級電気工事士 施工管理技士

一次
検定
7月

試験に出るところが
ひと目でわかる

オリジナル
テキスト

リーズナブルな
受講料で

追加教材を
買う必要
なし!

学習時間は
独学の
約半分に!

丁寧な解説付き問題集は
10年分収録!

TACなら!

約150時間

未経験独学者の
平均学習時間
約300時間

電気工事の安心と品質を守る
プロフェッショナル

早割

キャンペーン

2026年1/30(金)~3/2(月)

キャンペーン受講料

1次対策コース 全20回

通常受講料
37,000円

→ **34,000円**

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は別途入会金(¥10,000・税込)が必要となります。受講料等の詳細は中面をご確認ください。
※受講料には教材費・消費税が含まれます。

スマホで
かんたん申込み!

受付
TACお申込みサイト



資格の学校 **TAC**

<https://www.tac-school.co.jp/>

1級電気工事施工管理技士

1級電気工事施工管理技士とは

1級電気工事施工管理技士は、建造物の建設や増築などに必要な電気工事に関する施工計画の作成、工事現場における工程・品質・原価・安全などの管理、電気工事の監理をおこなうことができる国家資格で、一次、二次の双方の試験に合格することで取得することができます。1級電気工事施工管理技士の資格を取得することで、特定建設業の許可基準の一つである「営業所ごとに置く専任の技術者」、建設工事の現場に置く専任の「監理技術者」として認められるとともに、経営事項審査における技術力の評価において、計上する技術者数にカウントされるなど、施工技術の指導的技術者として社会的に高い評価を受けます。

1級電気工事施工管理技士補とは

1級電気工事施工管理技士補は、1級電気工事施工管理技士を補佐する資格で、一次検定に合格することで取得することができます。所定の大規模な工事現場には、本来、監理技術者を専任で置かなければなりません、技士補を専任で置くことにより、監理技術者は2つの現場を兼任できることになります。また、技士補は二次検定に合格することにより、1級電気工事施工管理技士になることができます。(二次検定の受検にあたって有効期間や受検回数の制約はありません。)



1級電気工事施工管理技士の主な受検資格

※詳細は一般財団法人 建設業振興基金ホームページをご確認ください。

	第一次検定	第二次検定※1
令和6年度より	19歳以上であれば誰でも受検可能	<ul style="list-style-type: none"> ●1級第一次検定合格後 <ul style="list-style-type: none"> ・実務経験5年以上 ・特定実務経験1年以上を含む実務経験3年以上 ・監理技術者補佐としての実務経験1年以上 ●2級第二次検定合格後 <ul style="list-style-type: none"> ・実務経験5年以上(1級第一次検定合格者に限る) ・特定実務経験1年以上を含む実務経験3年以上(1級第一次検定合格者に限る)

※1「第一次検定合格」については、令和3年度以降の第一次検定合格が対象、また「2級第二次検定合格」については、令和2年度以前の2級技術検定合格も対象
 ※令和10年度までの間は経過措置期間として、制度改正前の受検資格要件による第二次検定受検が可能

試験制度

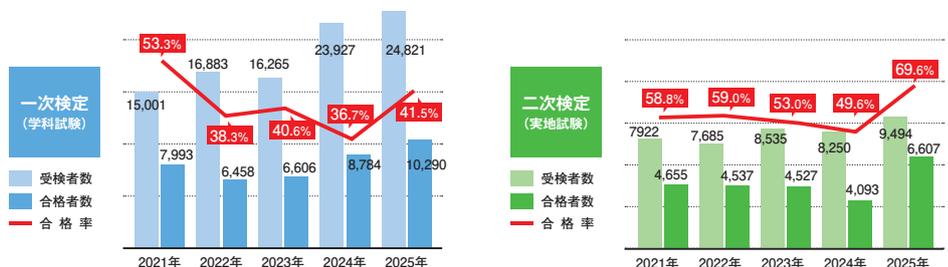
※試験の日程・形式・受検資格等は変更になる可能性があります。受検の際は必ず最新の受検の手引をご確認ください。

※1級電気工事施工管理技術検定の詳細は一般財団法人 建設業振興基金の施行管理技術検定ホームページ (<https://www.fcip-shiken.jp/>) をご確認ください。

試験日	第一次検定	令和8年 7月12日(日)	試験地	全国10地区	
	第二次検定	令和8年10月18日(日)			
合格基準	第一次検定	全体で得点が60%以上(89問中60問解答し36問以上の正解)かつ、施工管理法(応用能力)で得点が50%以上(6問中3問以上の正解)	第二次検定	60%以上	
	検定科目		検定基準		知識/能力
試験の内容	第一次検定	電気工学等	1. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な電気工学、電気通信工学、土木工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識を有すること。 2. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な発電設備、変電設備、送配電設備、構内電気設備等(以下、「電気設備」という。)に関する一般的な知識を有すること。 3. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書に関する一般的な知識を有すること。	知識	四択一(マークシート)
		施工管理法	1. 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識を有すること。 2. 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有すること。	知識 能力	四択一(マークシート) 五択一(マークシート)
		法規	建設工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する一般的な知識を有すること。	知識	四択一(マークシート)
	第二次検定	施工管理法	1. 監理技術者として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。 2. 監理技術者として、設計図書で要求される電気設備の性能を確保するために設計図書を正確に理解し、電気設備の施工図を適正に作成し、及び必要な機材の選定、配置等を適切に行うことができる応用能力を有すること。	知識 能力	四択一(マークシート) 記述

合格率

※従来は一次検定を学科試験、二次検定を実地試験と呼んでいました。



1次対策コース 全20回

一次検定の全範囲を短時間でコンパクトにマスター!

対象者 2級電気工事施工管理技士もしくは第一種電気工事士合格レベルの初学者、受験経験者

教材 1次対策テキスト※TACオリジナルテキスト/
1次対策過去問題集(上)(下)※10年分をテーマごとに収録/
ミニテスト Webトレーニング対応教材 / 直前テスト

受講ガイドはHPにて
ご確認ください



質問制度 質問メール:20回 **受講期限** 2026年7月末日(Web視聴期限等)

学習メディア ビデオブース+Web講座 Web通信講座

Point 1

フルカラーで
試験に出るところが
ひと目でわかる
オリジナルテキスト



カリキュラム

※講義時間は1回約90分です。(第1回のみ約20分)
※ミニテストは講義録添付であり、Web通信生への送付はありません。TAC WEB SCHOOLよりPDFをダウンロードいただけます。

回数	学習テーマ	ビデオ・Web 視聴開始日	Web通信講座 教材発送開始日・ 送付物	
第1回	はじめに	2026年 2月13日(金)		
第2回	電気工学	2月20日(金)		
第3回				
第4回	電気理論②・電気機器	2月27日(金)		
第5回	電力系統・電気応用			
第6回	電気設備	3月6日(金)		
第7回				発電設備、変電設備
第8回				送配電設備
第9回	構内電気設備①	3月13日(金)		
第10回	構内電気設備②			
第11回	構内電気設備③・電気鉄道・その他整備	3月20日(金)		
第12回	関連分野			機械設備・土木工事・建築工事
第13回	設計図書・施工 管理法応用能力	3月27日(金)		
第14回				電気図記号・文字記号・請負契約・ 下請契約
第15回	施工管理	4月3日(金)		
第16回				施工計画
第17回				工程管理・ネットワーク工程表
第18回	電気法規	4月10日(金)		
第19回				品質管理
第20回	安全管理	4月17日(金)		
第21回	工事施工			
第22回	建設業法 / 電気関係法規	4月10日(金)		
第23回				建築関係法規 / 消防法 / 安衛法 / 労基法 / その他
第24回	直前テスト①	4月17日(金)		
第25回	直前テスト②			

2026年
2月6日(金)
●1次対策
テキスト
●1次対策
過去問題集(上)
●1次対策
過去問題集(下)
●直前テスト
2回分

Point 2

学習時間は
独学の約半分に!
丁寧な解説付き問題集は
10年分収録!



Point 3

リーズナブルな
受講料で
追加教材を
買う必要なし!

受講料・コース No. 一覧		2026年1月30日(金)~3月2日(月)		2026年3月3日(火)~			
1次対策 コース	メディア	コースNo.	キャンペーン受講料(税込)*1	コースNo.	通常受講料(税込)	コースNo.	再受講割引受講料(税込)*2
		ビデオブース+Web講座	264-400	¥34,000	264-402	¥37,000	264-404
	Web通信講座	264-401	¥34,000	264-403	¥37,000	264-405	¥18,500

クラス No.																	
ビデオブース+Web講座																	Web通信講座
仙台校	水道橋校	渋谷校	新宿校	池袋校	八重洲校	立川校	町田校	大宮校	津田沼校	名古屋校	京都校	梅田校	なんば校	神戸校	広島校	福岡校	W1
J0	20	L0	G0	30	F0	M0	A0	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	

※上記受講料は、教材費・消費税10%が含まれます。 ※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入金金(¥10,000・10%税込)が必要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。 ※TAC取扱代理店(大学生協・書店等)割引、NEXT割引、日商簿記ステップアップ割引、株主優待割引がご利用いただけます(割引の併用は不可)。 ※e受付(インターネット申込)ではご利用いただける割引制度を一部に限らせていただいております。割引申込の利用条件等詳細は、e受付サイト(https://ec.tac-school.co.jp/)の「割引について」をご確認ください。 ※郵送でのお申込みは承っておりません。 ※TAC申込規約、HP記載の受講ガイド・各種規定、個人情報の取扱いをご確認の上、お申込みください。

※1【早割キャンペーン申込上の注意】
※TAC取扱代理店(大学生協・書店等)割引、NEXT割引、日商簿記ステップアップ割引、株主優待割引、法人割引がご利用いただけます(割引の併用は不可)。

※2【再受講割引について】
・対象者:過去に1級電気工事施工管理技士「1次対策コース」を受講したことがある方。
・利用方法:TAC受付窓口申込みの際は必要書類(過去受講時会員証)を窓口提示してください。e受付にてお申込みされる際は対象者の方はe受付にログインすることで再受講割引受講料にてお申込みいただけます。
※再受講割引は他の割引との併用はできません。

ダブル・トリプルライセンスで効果を最大限に!

電気・設備系国家資格ならTAC!

電気工事士

開講講座 ▶ 第二種 / 第一種

住宅や工場、施設などのさまざまな建物や設備で電気が安全に使用できるよう、電気工事の作業を行うことができる国家資格。

TAC電気
工事士講座
HP



冷凍機械責任者

開講講座 ▶ 第三種

工場や倉庫などの施設で冷凍設備の管理や保守、点検立会いや監督、メンテナンス業務などを行うことができる、高圧ガス製造保安責任者という国家資格の区分のひとつ。

TAC冷凍
機械責任者
講座HP



ボイラー技士

開講講座 ▶ 二級

ビルや工場の給湯設備や関連機器を安全に運用するため、火気や高温ガスを使用するボイラーの運転・点検・修繕に必要な専門知識と技能を備える国家資格。

TAC
ボイラー
技士講座
HP



危険物取扱者

開講講座 ▶ 乙種第4類

消防法に基づくガソリン、灯油、カリウム、過酸化水素などの危険物を取り扱うために必要となる国家資格。

TAC危険物
取扱者講座
HP



消防設備士

開講講座 ▶ 甲種第1類 / 乙種第1類 /
甲種第4類 / 乙種第4類 / 乙種第6類

建物などに設置されている消火器やスプリンクラー、火災報知設備、救助避難設備などの消防設備の点検や整備、工事を行うことができる国家資格。

TAC
消防設備士
講座HP



電気主任技術者

開講講座 ▶ 電験三種 / 電験二種

発電所や変電所、工場やビルなどに設置される電気設備の保守・監督を行うための国家資格。

TAC電気
主任技術者
講座HP



予告

1級電気工事施工管理技士

2026年合格目標
2次対策コース

2026年7月頃ご案内開始予定!

▶1級電気工事施工管理技士 2次対策コースの詳細は、
2026年7月頃に発行予定のリーフレットをご覧ください。

無料Webセミナー

セミナーご視聴後のアンケート回答で
入会金¥10,000免除券プレゼント!

TAC動画チャンネルで
無料セミナー・体験講義を
順次公開予定

TAC動画チャンネル 🔍



TAC1級電気工事施工管理技士講座

▶コースの詳細、最新情報は
ホームページをご覧ください

TAC 電気工事施工管理技士 🔍



1級電気工事施工管理技士
講座のお申込みに
関するお問い合わせは

TACカスタマーセンター

ゴウカク イイナ
通話無料 0120-509-117

受付時間 10:00 ~ 17:00



355-0902-1009-11